

ここでは、議員の質問から主な項目をご紹介します。すべての質問項目は、ホームページをご覧ください。

狭山市の知名度向上と

狭山市駅、狭山市駅西口の有効活用

土方 隆 司 議員
(新政みらい)

◆所沢、入間、川越に比べ知名度が低いことを市長はどうお考えか。

市長 大手自動車工場や市が冠の都市対抗野球チーム、智光山公園や圏央道など認知度はある。今後は、げんき村構想を支援するなど、知名度を高めていく。

◆知名度向上には「ご当地商品の開発に加え、「世界的キャラクター」との共同企画が有効と考えるが、市の取り組みと今後の予定は。

環境経済部長 県のB級グルメ大会で、さといもコロッケ、まっ茶クレープとも入賞。農工商連携事業の一環として今後も支援を継続。「おりびい」は中心市街地PR事業で知名度を上げる。今後も活用を図る。

◆狭山市駅開発による経済効果と七夕通りへの経済波及効果は。

都市整備部長 市民交流センターなどの完成で商業施設、駅の集客施設との相乗効果で十分見込まれる。

環境経済部長 市民広場の完成で図書館通りと七夕通り商店街との歩行者動線が整い、活性化が図れる。

◆駅西口の「にぎわい創出」と「有効活用」の計画は。

市長 活性化は極めて重要。さまざまな団体が市民と協力し市民広場の活用など事業を展開する必要がある。器の自身はみんなできつくつくっていくことが重要。

◆駅西口の有効活用の一環として、日時に制限を設け「歩行者天国」にしては。

建設部長 道路使用は制約が厳しいが、にぎわいの創出を可能とした広場を整備。今後、検討していく。

◆さらなる有効活用としてフリーマーケット、コンサート、スポーツの開催を提案するが考えは。

市民部長 市民の手づくりイベントに使ってほしい。

公共施設の有効活用と

橋梁の安全性は？

内藤 光 雄 議員
(新政みらい)

◆公共施設は日々の生活を充実させ、幅広い方々の健康づくりなど、その効果は無量大では。

①施設の稼働率を高めるための施策は ②個人が事前に予約申し込みができる仕組み作りは ③利用条件の緩和など、市民や利用者側の立場での検討は

建設部長 ①指定管理者から野球場の利用率向上などの提案があり、市でも連携して取り組んでいく。

生涯学習部長 ②個人利用の促進が図れるか検討。
総合政策部長 ③今後、指定管理者と協議を進める。

◆防災情報は的確・明瞭な発信が重要では。

①防災無線が聞き取れなかった場合の対策は ②聴覚障がい者の方々への対応は ③メール配信サービスのさらなる普及に向けた施策は

市民部長 ①音声自動応答サービスやケーブルテレビで情報発信。 ②防災フックシミュリで情報提供。

総合政策部長 ③啓発回数をややし窓口にチラシを設置、ホームページの登録方法を分かりやすくする。

◆橋梁が震災などで寸断すれば、避難経路、緊急車両への影響や、復旧・復興に大きな遅れをきたすが、

①安全点検や補修の状況および架け替え計画は ②耐震調査の実施状況は ③安心して暮らせる街づくりのために橋梁の安全性を高めることが重要では

建設部長 ①市管理の15m以上の橋は、通常点検を毎年実施。他の橋も日常のパトロールなどを実施。平成21年度に本富士見橋の高欄塗装や橋台補修工事を実施。市管理の橋の架け替えは、今後、橋梁長寿命化修繕計画で検討。 ②今後、15m以上の橋は橋梁長寿命化修繕計画で調査検討し、計画を策定。

市長 ③補助金を視野に計画策定、橋梁保全を行う。

にぎわいのある街づくりをめざして

太田 博 希 議員
(志政会)

◆狭山市駅西口再開発事業について

①一街区まち開き後のにぎわいなど事業成果をどう評価するか ②産業労働センター、公共駐車場など開設1年経過後の成果と課題は何か

市長 ①商業棟や住宅棟、駅前広場などが完成し、利便性や快適性などが格段に向上し、確実に町が生まれ変わっていると感じている。

環境経済部長 ②企業紹介、七夕絵画展、経営指導相談などを開催している。狭山市ふるさとハローワークでは740人の就職が決まった。施設の周知に努め利用率向上を目指し、ニーズに合った事業を実施する。

市民部長 ②駐車場、自転車駐車場とも予測以上の利用で役割を果たしていると考え。開設後に自転車の出し入れの際の苦情があったが、修繕し解決した。

◆中心市街地活性化事業について

①にぎわい創出のための実績と成果は ②中心市街地活性化基本計画の策定方針、対象とするエリア、予定する事業方針、スケジュールはどうか ③入間川に至る歩行者動線や活性化の確保策は

環境経済部長 ①たまり場ショップ事業「いるまおい」まちづくり普及啓発事業などを実施し、中心市街地の活性化に寄与していると考え。 ②当初の方針を変更せず、現在までの事業の検証と今後の方向性をまとめていく予定。期間は5カ年をめぐり、後期基本計画と将来を見据えた見直しとして改定する。 ③七夕通り、天神通り商店街にある都市計画道路菅原田中線、国道16号、入間川の東西軸に対し、狭山市駅西口から入間川に至る南北軸の整備で新しい回遊性を創出し、さらなる活性化を図っていく。

ここでは、議員の質問から主な項目をご紹介します。すべての質問項目は、ホームページをご覧ください。

市の防災対策の見直しと節電対策

齋藤 誠 議員
(公明党)

◆避難所となる学校施設の防災機能の向上について

①体育館の天井材などの設備機器の安全確認は ②避難所として必要な(1)各種スペース、(2)必要物資の備蓄、(3)生活用水、(4)自家発電装置、の確保にどう取り組むか ③避難所運営マニュアルはあるのか ④早期の学校教育活動の再開に向けての計画は

生涯学習部長 ①教職員の日々の点検や法定点検を行い、不具合箇所は迅速に修理や改修などを行う。

市民部長 ②(1)有効活用が大切。居住性を確保し、避難者の立場に立った活用を図る。校庭は炊き出しや仮設トイレ、物資搬入のスペース確保も大切。(2)26カ所の小型倉庫と4カ所の大型倉庫を設置し、定期点検、機器類の作動確認を実施。(3)学校の災害用井戸や企業、個人が所有する井戸がある。(4)大型倉庫に47台、地区センターに1台ずつ発電機を配備。

③防災計画で運営方針を定め、現地対策本部用マニュアルを整備し、視覚や聴覚に障害を持つ方への対応も位置づける。

学校教育部長 ④教育経営委員会で研究を進める。

◆ごみ減量による焼却炉などの負担軽減による節電

①焼却炉の運転はピーク時を避けてできるか ②もやすごみの中に、いまだに多く含まれる「雑紙」を古紙回収して資源化する取り組みを大展開しては ③茶がら回収プロジェクトとして、茶がらをもやすごみから生ごみリサイクル事業に乗せる取り組みを、まずはモデル地域を設けて実施してみてもいいか

環境経済部長 ①支障のない設備の運転を考え、非常用予備発電の使用を経済産業省と協議中。 ②紙類の分別は有効な手段。 ③現状を踏まえ研究する。

防災対策／選挙事務

磯野 和 夫 議員
(公明党)

◆いざという時、より実効性のある防災対策を

①木造家屋の耐震化率の進捗状況と対策は ②家具転倒防止対策の現状と普及への対策は。また高齢者などの災害弱者への支援は ③自主防災組織率の現状と対策は。組織への支援の充実は ④事業所などにおける防災体制の現状と今後の取り組みは ⑤自主防災組織ごとの防災訓練の実施は ⑥小中学校での防災教育の現状と今後の取組は ⑦防災行政無線の現状と今後の見直しは ⑧東日本大震災時の帰宅困難者の状況と今後の対策は

建設部長 ①1月で約68%と推計。無料診断をPR。 ②研修会や市民講座で啓発。リーフレットで普及。要援護者対策で調査研究する。 ③5月1日現在、約71%。未結成の自治会に積極的に働きかけ、構成員へ防災知識や技術修得の支援を充実。 ⑤組織活動の充実を支援。 ⑦平成9年度から11年度に整備したが、経年劣化で難聴エリアが生じ、現地調査を実施。 ⑧7名を産業労働センターに誘導・支援した。狭山市駅西口周辺施設での受け入れの検討が必要。

消防長 ④確認申請時には指導や助言、予防査察の充実強化、是正指導を実施。研修や訓練の協力や指導事業で体制強化と地域の防災力向上の促進に努める。

学校教育部長 ⑥マニュアルによる避難訓練を実施。今回の震災で訓練内容を見直し、児童の引き渡しは電話を使わないで行う場合の基準をより明確にする。

◆選挙事務 1 期日前投票のさらなる簡素化を

期日前投票は、誓約書を書く必要があり、煩雑感がある。さらなる簡素化ができないか。

選挙管理委員長 入場券の代用は制度的に難しい。

新富士見橋架け替えと茶の花号

猪股 嘉 直 議員
(日本共産党)

◆東日本大震災の被害の甚大さは、国政も地方自治のあり方も見直すべきと指摘しているようだ。

①市長は、進めてきた市政・選択と集中の基準を再検討すべきと思うがどうか ②大型開発と災害に強いまちづくりを一緒に進めることは財政的に無理と思うがどうか

市長 ①より安全・安心で災害に強いまちづくりを念頭に危機管理体制の強化や安全確認の仕組みづくりなどに配慮した施策の展開に努める。 ②災害に強いまちづくりの推進や市民の支え合い活動の醸成を図り、共助にすぐれたまちづくりを目指す。

◆新富士見橋は使用して55年が経過、老朽化もある。①どの程度の地震に耐えられるのか ②橋も大変狭い。架け替えを県に強く求めるべきだ。

都市整備部長 ①現在、耐震の程度は示されていない。

市長 ②渋滞解消など必要性を認識している。引き続き、県議会議員と早期架け替えを要望していく。

◆茶の花号は4月1日から運行が変わった。①通勤通学利用では喜ばれているが、利用者がさらに増える施策を ②バス3台を増やさず見直したために、これまでの利用者には不便もある。ワゴン車活用の検討を ③高齢者の有料化は無料に戻すべき

市民部長 ①広報紙掲載などで利用率向上を図る。 ③検討会議などを踏まえ、受益者負担となった。 **長寿健康部長** ②検討した結果、新しいルートでの運行を決定した。



新富士見橋の渋滞。狭さが拍車